

# 消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.111

発行所: 日本消化器がん検診学会  
 関東甲信越支部  
 〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2  
 東京都がん検診センター  
 消化器内科  
 TEL/042-321-0711  
 E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp



## 第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会告	2
会長挨拶	5
プログラム	6

## 第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会告	7
会長挨拶	8

## 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

### 超音波研修委員会

平成31年度超音波研修委員会セミナーのご案内とプログラム	9
------------------------------	---

編集後記 山口和也	10
-----------	----



## 第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：萩原廣明（萩原内科医院）  
会 期：2019年 9月29日（日）  
会 場：前橋テルサ（群馬県前橋市千代田町2-5-1）  
会 費：医師3,000円 その他2,000円

### 【お問い合わせ先・事務局】

第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

萩原内科医院（千明未佳 萩原廣明 金田佳子）

〒379-2106 群馬県前橋市荒子町1585-2

TEL：027-268-1415

FAX：027-268-1416

E-mail：gankenshin79@fol.hi-ho.jp

ホームページ：http://www.jsgcds-kanto-79th.jp/



## 会場案内

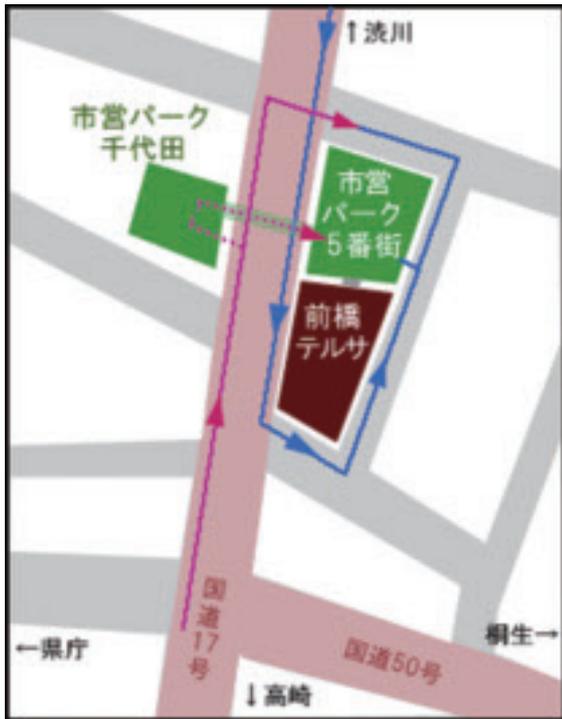
### 交通のご案内

- JR  
「JR前橋駅」下車。タクシーまたは、下記バスにて約5分。徒歩約20分。距離約1.2km。
- バス  
群馬バス・関越交通、群馬中央バス・上信電鉄・永井バス等  
「JR前橋駅」のりば・・・①、②、⑤  
最寄りのバス停  
渋川方面より 国道17号「千代田町二丁目」下車、0分  
前橋駅より 国道17号「千代田町二丁目」下車、1分  
前橋駅より 国道50号「本町」下車、3分
- コミュニティサイクル  
前橋駅・新前橋駅などからテルサまで、乗り捨て可能な貸自転車が利用できます。



駐車場のご案内

■ 駐車場は市営パーク千代田、市営パーク5番街をご利用いただき、駐車券をお持ちください。



◆ 国道17号高崎方面より  
「市営パーク千代田」入口よりお入りください。  
「市営パーク千代田」と「市営パーク5番街」は地下道で連結しております。  
「市営パーク千代田」入口より地下道を通り駐車してください。

◆ 国道17号淡川方面より  
「市営パーク5番街」手前信号を左折し矢印の通りお入りください。  
テルサ南信号を左折し矢印の通りお入りください。



▲市営パーク5番街



▲市営パーク千代田

●「市営パーク城東」駐車場もご利用頂けます。

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

【 硫酸バリウム製剤 】

■ 大腸CT用経口造影剤

**コロンフォート** 内用懸濁液25%

■ 消化管X線造影剤

**バリオガンHD**

■ 注腸用X線造影剤

**エネマスター** 注腸散

■ 上部消化管X線造影剤

**バリテスターA240散**

**バリオガンデラックス**

**バリオガン**

**バリオガンSHD**

**硫酸バリウム散 99.5%「FSK」**

**ウムブラMD**

【 炭酸水素ナトリウム・消石酸配合剤 】

■ X線診断二重造影用造影剤

**バリエース** 発泡顆粒

■ 胃内汚染性粘着除去剤

**バリオガン** 消泡内用液 2%  
(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

**ファースル** 錠 2.5mg  
(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

取扱商品

■ 大腸-CT用検査食 **FG-two**☆

エスピー食品と共同開発。  
味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清澄飲料水 **PROJECT F.**

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG Jelly**

消化成分と抗菌成分をダブル配合。  
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

■ CT検査補助具 **コロンマット**

マットの上でコロンと回転し、体位変換が可能。  
撮影時の体位維持や、体位変換の負担を軽減。

遠隔画像診断支援サービス

**G.I.Lab株式会社**

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1  
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。  
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

**伏見製薬株式会社**  
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801  
名古屋営業所 / TEL 052-732-8555 大阪営業所 / TEL 06-6160-2431  
中西国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

## 会 長 挨 拶

### 第79回地方会開催にあたって



第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会

会 長 萩 原 廣 明

(萩原内科医院)

このたび、第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を平成31年（2019年）9月29日（日曜日）に前橋テルサにて開催させていただくことになりました。伝統ある本会の会長を務めさせていただくことは身に余る光栄に存じます。本学会は、医師、診療放射線技師、臨床検査技師、保健師等、消化器がん検診に携わる多職種の会員から成り立っているため、すべての会員にとって有意義な学会となるよう準備を進めさせていただいております。

今回のテーマは「これからの消化器がん検診を考える」といたしました。胃X線検診は、本学会より読影判定区分（カテゴリー分類）が策定されたことで、精度向上が期待されています。胃内視鏡検診は今後全国的に導入されていくと考えられますが、解決すべき課題も残っており、また、見逃しのない胃内標準撮影法を学会として早急に構築する必要があります。胃がんリスク層別化検診も効率的で有用な検診法ですが、クリアすべき課題がまだありそうです。腹部超音波検診では検診判定マニュアルが活用されており、その有用性と課題が議論されています。大腸がん検診は受診率の向上と精検受診率の向上が今後の課題であり、大腸内視鏡検診や大腸CT検診の可能性も考えていかなければなりません。本学会では、特別講演、教育講演、パネルディスカッションでこの課題を取り上げ、皆さまから忌憚ないご意見をいただき、これからの消化器がん検診の受診率と精度の向上につながる議論ができるものと考えています。

会場の前橋市は関東平野の北西、上毛三山の一つである赤城山南麓に位置し、市内を利根川と広瀬川が流れ、緑も多く水資源に恵まれた街です。会場近くには、群馬県の迎賓館として明治17年に建てられた臨江閣、緑豊かな前橋公園、広瀬川沿いに萩原朔太郎記念館、群馬のソウルフード「焼きまんじゅう」の元祖の店もごございますので、時間があれば足を運んでいただくのもよろしいかと存じます。

多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 第79回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 プログラム

	第1会場 (500名)	第2会場 (180名)	第3会場 (120名)	第4会場 (50名)
9:00	開会の辞 大会長 萩原廣明			
9:15	保健衛生研修委員会シンポジウム 「より良い消化器がん検診を目指して これまでの取り組みと今後の課題」 -受診率向上、事後フォロー、精度管理 安全対策-	放射線研修委員会 パネルディスカッション	超音波研修委員会 パネルディスカッション	
10:00	司会:小川敬子 :浦島有希  コメンテーター:小田丈二  9:10-11:10	「読影の補助を生かすための 透視観察・追加撮影の技術とは」  9:15-11:10	超音波スクリーニング法2019 これで良いのか 超音波スクリーニング -記録断面と走査法を見直す- その3  司会:若杉聡 岩田良隆  9:15-11:10	
11:00				
12:00	教育講演1 「がん検診としての大腸内視鏡検診を 考える」 講師:鈴木康元 司会:村田 聡 11:15-12:10	教育講演3 「がん検診としての大腸CT検診を考える」 講師:永田浩一 司会:山口和也 11:15-12:10	ザ・ベストイメージングコンテスト 11:20-11:50	
13:00	スポンサーセミナー 講師:浦岡敏夫 「消化器がん内視鏡治療の最前線」 司会:入口陽介 12:15-13:10 共催:オリンパスメディカル			
14:00	教育講演2 「上部消化管検診における見逃しのない 内視鏡観察・撮影法を考える」 講師:成澤林太郎 司会:赤松泰次 13:15-14:05	一般演題 13:05-13:45 放射線関連		代議員会 13:20-14:00
	関東甲信越支部総会 14:15-14:30			
15:00	パネルディスカッション  「これからの胃がん内視鏡検診を考える」  司会:齋藤洋子 中島寛隆 14:35-16:45	放射線研修委員会教育講演会 トピックスレクチャー 講師 小田丈二 14:35-15:10	一般演題 14:25-15:05 超音波関連	プログラム委員会 14:25-14:55
16:00		放射線研修委員会 内視鏡研修委員会合同研修会 アンサーパットを用いた症例検討会 司会:小田丈二 茂木文孝 15:15-16:45  協力:カイゲンファーマ	超音波研修委員会教育講演 講師 松本直樹 15:15-16:15	
			ザ・ベストイメージングコンテスト表彰 16:25-16:45	
17:00	閉会の辞 次期会長 山口和也			

## 第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：山口和也

(公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター消化器内科)

会 期：2020年10月18日(日)

会 場：オークラ千葉ホテル (千葉市中央区中央港1-13-3)

参加費：3,000円

### 【お問い合わせ先・事務局】

第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター 消化器内科

〒261-0002 千葉市美浜区新港32-14

TEL：043-246-8664

大会長 山口和也

E-mail：ka-yamaguchi@kenko-chiba.or.jp

事務局長 中川由紀

プログラム委員長 稲田麻里

ホームページ：準備中



## 会長挨拶

## 第80回地方会開催にあたって

第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会  
 会長 山口和也  
 (ちば県民保健予防財団 総合健診センター 消化器内科)

この度、第80回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を、2020年10月18日(日)にオークラ千葉ホテル(千葉市中央区)にて開催させていただくことになりました。関東甲信越支部は1971年に、市川平三郎先生が中心になって設立されました。第1回の関東甲信越地方会は1971年2月5日に開催されました。ちなみに私の誕生日は1971年2月9日です。胃集団検診から始まり、大腸がん検診、腹部超音波検査、内視鏡と対象検査が広がり今日に至ります。千葉県のがん検診受診率は決して良い数字ではありません。一部の方が毎回受診されていて、受診しない方は受診しない現状です。市民の皆様を受け入れていただく検診のありかたを今一度みなさんに考えていただき、今後の検診の進む道を提案したいと思います。教育講演、医師認定講習会、放射線研修委員会、超音波研修委員会を予定しています。多くの関係者の参加をお待ちしています。

## 消化管の診断に

処方薬医薬品  
X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

硫酸バリウム散 99.1%「共成」  
ネオバルギンEHD  
ネオバルギンUHD  
ネオバルギンHD

バリトップP  
バリトップHD  
バリブライトP  
バリブライトCL  
バリブライトLV  
バリコングMX

ソル製剤  
バムスターS200  
バリトップ120

バリトップソル150  
バリブライトソル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。  
※注意—医師等の処方箋により使用すること

菊池基伸収載

健やかを、整えるちから。

製造販売元

**KAIGEN** カイゲンファーマ株式会社

大阪市中央区道修町二丁目5番14号(資料請求先 商品企画部)  
http://www.kaigen-pharma.co.jp

第23回

# 超音波セミナー

テーマ：Bモードの見方が変わる検査の基礎

2019年 4月 20日 土

会費：二千円（会員）

13:00～16:30（開場12:30）

会場：東医健保会館 大ホール

●教育講演 「学会で聞いて困らない造影超音波 ～症例編～」

カラドブラと造影超音波の対比 肝腫瘍性病変

講師：松本 直樹（日本大学医学部）

●教育講演 「学会で聞いて困らないCT・MRI検査 ～症例編～」

超音波画像との対比 腫瘍性病変（肝胆膵）」

講師：関口 隆三（東邦大学医療センター大橋病院）

●症例検討会

演者：若杉 聡（千葉西総合病院）

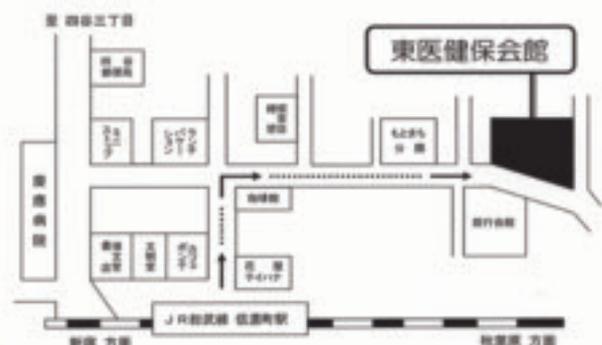
お問合せ

超音波研修委員会事務局

[E-mail]kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com

主催：日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

※セミナーは予約不要・先着順となります。



会場

東医健保会館 東京都新宿区南元町4番地

## 編集後記

今号は、第79回関東甲信越地方会関係、第80回関東甲信越地方会関係、超音波研修委員会セミナーの案内を掲載いたしました。

第79回関東甲信越地方会関係ではプログラムを掲載いたしました。各会場の朝一番目のセッションは、シンポジウムとパネルディスカッションです。白熱した議論が予想されます。是非朝一番から来場してください。教育講演、ランチョンセミナー、そして午後にもパネルディスカッション、症例検討会が配置されています。第79回地方会のメインテーマは「これからの消化器がん検診を考える」です。本学会で胃X線検診読影判定区分が策定され、精度向上につながればよいなと思っています。地域胃X線検診受診者が年々減少しており、画像閲覧および読影所見入力ソフトウェアを利用している施設にとっては、ソフトウェア更新を行う予算をいつ確保できるか先が見えない現状です。受診者の固定化といいましようか、内視鏡を毎年受診したい方もいらっしゃいますし、胃X線検診は毎年受けたい方もいらっしゃいますし、検診は受けない、受けたくないという方もいらっしゃいます。固定観念を打ち破る何かが必要だと思っています。内視鏡検診の導入は、固定観念が変わるきっかけになっていると思っています。

大腸がん検診、腹部超音波検査についても、まだまだ拡大発展が見込めます。もっと皆さんが勉強して知識を深めていただきたいです。

今我々にやれることは、とにかくみんなで力を合わせて、ひとつずつ、着実に安全安心な検診を行っていくことです。今後ともよろしく願いいたします。

公益財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター  
山口 和也

### ■編集委員会■

編集委員長 山口 和也  
編集委員 小田 丈二 岡田 義和 神宮字 広明 山本 美穂  
石井 崇雄 木村 友子 渡邊 綾子



(非売品)